

平成30年度

コミュニティ・スクールだより

第6号



名張市教育委員会事務局発行
2018.10.18

演題

講演会を開催します

コミュニティ・スクールを基盤とした 小中一貫教育

市内で取組が始まっている「コミュニティ・スクール」と「小中一貫教育」について、わかりやすくお話しいたします。



講師：文部科学省初等中等教育局
視学委員 貝ノ瀬 滋 氏

日時：平成30年12月1日（土）10時30分～12時

「教育フォーラムinなばり2018」にて

場所：名張市教育センター 大研修室
(百合が丘西5-25)



講師プロフィール

ご来場、お待ちしております！

1948年、北海道生まれ。中央大学卒。東京都内公立学校教諭、三鷹市立第四小学校長、三鷹市教育長、三鷹市教育委員会委員長を経て、三重県教育委員会特別顧問、文部科学省参与を務める。現在は文部科学省初等中等教育局視学委員、福島県復興教育アドバイザー。校長時代から学校ボランティア制度を立ち上げ、「開かれた学校づくり」を推進する。三鷹市教育長を務めた際には、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を市内全校に拡大し、全国から注目される。

名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.6

「熟議」とは？



「熟議」とは、

協働をめざした対話のことをいいます。

1. 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
2. 課題について熟慮し、議論をすることにより、
3. 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
4. 解決策が洗練され、
5. 施策が決定されたり、個々が納得して自分の役割を果たすようになります。

<文部科学省HPより引用>

「熟議」の配慮事項は？

- * テーマは、未来志向・前向きなテーマで
- * 熟議のゴールを明確に
- * アイデアをどんどん出し合う

「熟議」のテーマは？

- ☆ 中学校卒業時に育ててほしい子どもの姿
- ☆ めざす子ども像から具体的な取組を考える
- ☆ 今、学校が必要としている学校支援とは
- ☆ 地域の力をどう子どもたちの教育に生かすか 等

「熟議」の方法は？ ⇒ ★次回のテーマとします★

★次回テーマは<熟議の方法>についてです★